

丈夫で 育てやすい 外国種

山野草 初心者にも オススメ

近年は外国種のなかで、ニオイスマイレやビオラ・リビニアなどの丈夫で比較的寿命が長く、定着率のよいものが日本に紹介され、人気上昇中です。扱いやすく、野趣ある姿を気軽に楽しめるので、山野草入門種として初心者にもおすすめです。これらの外国種は地植えでよくふえ、群れ咲く姿が楽しめます。左頁を参考に栽培エリアの土壌改良をするとういでしょう。ふえすぎて困る場合には株分けして、花友達にプレゼントしてみてください。

知ってる!?

購入時は 用土にも 注目

購入時は種名が記されているものを選びましょう。葉の縁が茶色い苗は病気や暑さで弱っている可能性があるため避けましょう。比較的粒の大きな排水性のよい用土が使われていれば、植え替えなくてもOKです。



ビオラ・ヘデラケア

オーストラリア原産で、つる状にランナーを伸ばして広がる。パンダスマイレ、ツルスマイレとも呼ばれる。草丈10〜20cm。



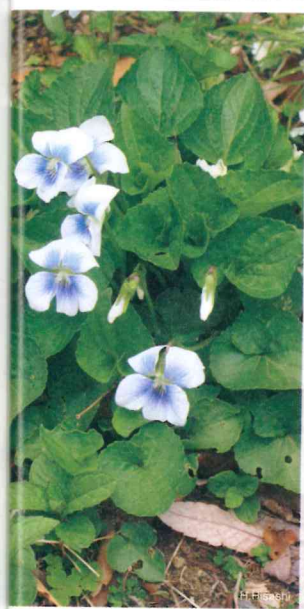
ビオラ・リビニアナ

ヨーロッパや北アフリカに分布する。銅葉が美しい。パリアアも人気。常緑で丈夫。よくふえる。草丈10〜20cm。



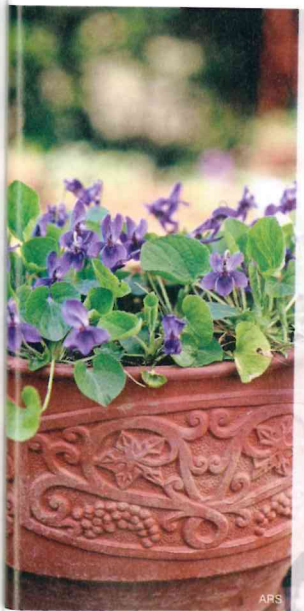
トリアシスマイレ

北アメリカ原産。花径3cmほどで、スマイレのなかでは大きい。全体が淡い紫色のものや2色の変種ビコロール(写真)がある。草丈5〜10cm。



ビオラ・ソロリア
プリケアナ

北アメリカ原産で、ビオラ・ソロリアにはアメリカスマイレサイシンの名前がある。プリケアナは白色で中心が青紫色。草丈10〜15cm。



ニオイスマイレ

甘い香りは欧州で香水の香料としても用いられる。スイートバイレットとも呼ばれる。こぼれタネやランナーでよくふえる。草丈10〜15cm。

Column

これもスマイレ?

スマイレは世界の主に高山帯から温帯に500種以上があり、環境に合わせてその姿は変化に富んでいます。例えば、ギリシャには木本性のスマイレがあったり、南米の高山にも多肉質でロゼット状の葉をもつスマイレがあったりします。これらは日本では育てるのは困難ですが花を見に行くマニアックなツアーも催行されています。



上はギリシャに自生種がある木本性スマイレのビオラ・デルフィナンタ。下は南米アンデス山脈に自生するロゼットスマイレのビオラ・フィリッピー。

ビギナー 注目!

山野草らしい 風情を 保つために

花こそスマイレの魅力。こあるように咲かせて、魅力を発見しましょう。

短命なスマイレを 閉鎖花で更新

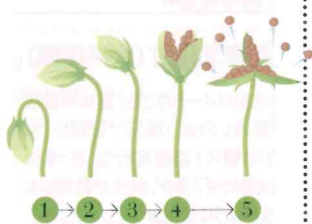
スマイレは1株に開放花と閉鎖花をつけます。開放花は花を開き他家受粉するため、交雑してタネにばらつきが生じることがあります。

一方、花を開かず自家受粉する閉鎖花の種子は、親と同じものができます。続けて栽培したい種類があれば、閉鎖花の種子を使って株を更新したほうが、発芽率もよく安定的です。

有機質を 用いない

スマイレ栽培では、腐葉土など有機質の用土を用いないのがポイント。多湿を嫌うスマイレにとって有機質の土は、夏に根腐れの原因となる可能性があります。また多肥などにより土が肥沃になりすぎると、一時的には花がたくさん咲きますが短命になりがち。用土は中粒の日向土、硬質で中粒の赤玉土を等量で配合したものが本来の山野草らしい風情を楽しめ、長生きさせられます。

自家受粉して
タネを飛ばす閉鎖花



土の配合



日向土 5 + 赤玉土 5